



ロータリーは  
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

# 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央 RC 会長テーマ

第747回 「<sup>りく</sup> <sup>りょく</sup> <sup>きょう</sup> <sup>しん</sup> 戮力協心」 H20・3・10

〈点 鐘〉会長 松之木 映一さん

〈ソング〉奉仕の理想

〈出席報告〉

本日の出席…36名 出席率…83.72%

前々回の補正…39名 出席率…92.86%

〈幹事報告〉幹事 永家 将嗣さん

◎「ロータリーバンド演奏会」

応援ツアー参加者募集について

〈会長の時間〉松之木 映一さん

春は会社等の組織に新人たちが入ってくる季節です。学生気分が抜けきらない、言葉づかいや非常識な行動で、上司や同僚から反感を買うケースも少なくありません。そこでこれまで職場で、出合った「困らせたり、腹が立った新人」こんな所には気をつけてほしいと、マクロミルという調査会社が全国の会社の30歳～59歳までの会社員に調査依頼したランキングベスト3を紹介させていただきます。

第3位は「敬語が使えない」、第2位は「メモを取らずに同じ事を何度も聞く」、第1位は皆様何だと思われませんか？、第1位は「挨拶がきちんできいない」ということでした。ある女性の解答は、社長クラスにしか挨拶せず、こちらが挨拶しても無視、又「テーッス」みたいな言葉づかいで、いつまでたってもこちらからの挨拶にうなずくだけである。せめて「おはようございます」「おつかれ様です」「失礼します」ぐらいの言葉ぐらい言ってほしい。ご馳走になったときぐらい「ご馳走様でした」ぐらい言えないのかとの嘆き節が多かったようです。

本日は挨拶して良かったといういい話を紹介します。

娘は朝の満員電車が苦手で、少し早めに家を出る。毎朝同じ時間帯にビルの掃除をしているおじさんと会い「おはようございます」と挨拶をするのが日課だった。そんな日々が何年か続いた。そのおじさんから声を掛けられた。娘が立ち止まると「私は今日でここを辞めることになりました。いつも笑顔で挨拶してもらっていたので一言ありがとうとお礼が言いたかったのです」予想外の言葉に娘は嬉しく幸せな気分になったという。朝一番の素敵な出来事を友達にも話した。「今日一日はルンルン気分が幸せだった」と、帰ってすぐ私にも話をしてくれた。「なかなかいい話だね」と言うと「でしょう。なんか気分いいよね」とニコニコ顔。人を幸せな気分にするのは、お金やモノばかりではない。ちょっとした人間らしい心と心の通じあいが、お互いに良い人間関係をつくるのだ。娘はおじさんにお礼を言ってもらいたくて挨拶した訳ではなく、毎朝顔を

合わせる人に自然と声を掛けていただけた。こんな幸せの種はどこにも一杯あるはず。みんなでそれを上手に育てていけたら良いなあと思う。とある母親からの投稿でした。

話は変わりますが、ちなみに新人から上司に対する苦情第一位は「言うことや指示が、ころころ変わる」ということですので、皆様特に気を付けて下さい。以上をもちまして会長の時間といたします。

〈本日のプログラム〉職業奉仕委員長 高原 清人さん

皆さん今日は、今日の例会は新会員スピーチということで、新会員の皆様に職業についてお話して頂きます。

H18～H19にかけて7名の方にご入会頂いております。なかなか出番がなく、顔と名前が一致しない会員の方もお見えのようですので、多くの会員の皆様に新会員さんを認知して頂きたいとの願いを込め、企画いたしました。

新会員の方の中には、大きなお世話と思っておいでの方もおいでのようですが、ここは自分をアピールできる絶好の機会ととらえていただき、お話をお願いいたします。

尚、会員の皆様にお願いがございますが、まれに医療ミスの話し、談合の話し、土地転がしの話し、または給水管とガス管を間違えて継いだ話、等々の話が仮に出たとしても……この会場で知り得た情報は、くれぐれも他言なさいませぬようお願い申し上げます。

〈新会員スピーチ〉

下田 徳彦さん

㈱シモダ道路は片野町に本社を置き、アスファルト舗装工事を主体とした建設業を営んでおります。受注先は公共から個人宅の民間まで幅広く対応をしています。父親が創業し舗装工事を本業として30年になります。

平成12年（当時32歳）に父親から社長を引き継ぎ、社名も下田重機㈱より㈱シモダ道路に改名しました。社長となって3年目に思わぬ事態が発生し、多額の負債を負うことになり、会社存続の危機に陥ってしまいました。

その時初めて本当に意味で社会の厳しさと人の優しさを知ることができました。当時は大失敗をして、悔やんでも悔やみ切れない思いでしたが、今現在の自分が存在するのも、その経験があったからだ、今は思うようにしています。結局失敗は成功へのステップであると考えれば気持ちが楽になり、心のおき方一つで物事は全く違って捉えられることに気づきました。

いつも理想を追求していきたいと思えます。小さい会社ですが大きな夢を持っています。本業の舗装工事の傍ら舗

創 立 1991年 5月 20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30～
- ◆例会場 / ひだホテルプラザ3F・☎(0577) 33-4600
- ◆事務局 / 高山市花岡町1-15 丸越商事4F  
☎(0577) 36-0730/FAX(0577) 36-1488  
ホームページ http://www17.ocn.ne.jp/~t-c-rc/
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事/永家 将嗣

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1 真実か どうか
  - 2 みんなに公平か
  - 3 好意と友情を深めるか
  - 4 みんなのためになるか どうか

装工事で使用する舗装レーキ「シモダトンボ」の製造販売をしており、現在北海道から沖縄まで全国に1,000社以上のユーザ（同業者）がおり、本日もなお拡大中でありです。同じ地域では本来ライバルである同業者でも、場所が変わればかゆい所も痛い所も良くわかりあえる仲間的な感覚が強く、今後はその取引先との連携を強化し、現在の販売関係から相互利益が生まれる発展的な関係へ変えていきたいと考えています。そして現場の声を活かしたマーケティングリサーチを活用し、本当に価値があり、現場から求められる道具を新商品開発として取り組んでいきたいと考えています。作業改善を目的とした道具の提供により、現場を側面からサポートする事で舗装技術の向上に努めていきたいと考えています。

最後になりますが、「もったいない」を代表とする日本人特有の精神性と、価値あるものづくりの考えを融合させることで、日本（高山）から全国を超え、世界への発信も十分あるのではと夢を追っています。

#### 長瀬 栄二郎さん

私は不動産業を生業としておりますが、不動産業とは何か？、大変分りにくい職種ではないかと思えます。ともすると、不動産業といえば「悪徳」とか、「土地転がし」「地上げ屋」といった悪いイメージがついて回らして、まづはその印象を払拭して頂くのに一苦労する業種です。

実際には、アパートやマンションの斡旋から、土地建物の売買の仲介といった仕事をしております。

不動産取引は本来、個人の人生や法人の事業における転機に関わる仕事です。住み慣れた家を売るとか、事業拡大のため土地を買い増すとか、それぞれの転換期に関わるわけですので、その意味では、大変重要な役割を担うべき職業であると考えています。

不動産業は、何か「物」を作り出しているわけではありません。その仕事はすべての取引引きにおいて、人と人をおつなぎすることであり、いかに円滑に、お互いが喜んでいただけるようなつながりを実現できるかが大切な仕事です、ですからそのことにこそ自らの存在意義を見出し、喜んでいただける人と人とのつながりを生み出せるよう、日々取り組んでいる次第です。

そのようなわけで、間違っても、業界のイメージがこれ以上悪くならないような仕事をしていけたらと考えております。ご清聴ありがとうございます。

#### 高木 純さん

医師不足とか連日連夜マスコミでは報道されていますが、歯科医師の世界では実は、供給過剰でかなり厳しい状況があることをご存知でしょうか？今コンビに数は全国で43,000件と言われてますが、歯科医院数は67,000件とそれより多く。コンビの1.5倍といわれています。

私が一昨年RCに入会した時は、このまま歯科医師が増えていくとおのずと競争も激化し、生き残っていきけるんだろうかという漠然とした不安がありました。ですから入会の挨拶は暇になったのでRCにはいって、一緒に酒を飲んでくれる友達でもできればなーという消極的な発想で暗い表情だったかと思えます。しかし職業的に大変なのは自分だけでなく、皆さんがそれぞれ頑張っていて、RCの会員は苦勞や不満は顔に出さず、いつもスマイルの人が多いのに正直驚きました。当時の会長漆山さん、次の会長伊藤マッカさん、2人ともスマイルが素敵で方々勇気付けられました。もちろん現会長の松之木さんもそうであります。

2極化の進む歯科界の中で生き残るため、当医院におい

ても、一般企業並みの経営理念を持ち、意識改革をしなければと思います。取り組んできたことをお話しします。

アルバート・メラビンの法則というものがあって、人はこうして話をして相手に伝えようとする時、55%が表情（スマイル）しか記憶に残らないという事実があります。次に話し方が38%、最後になってやっと話の内容7%となります。要は、どんなに一生懸命説明して相手に伝えようとしても、表情が良くなければ伝わりません。ですから自分も含めてスタッフと接客にはまずきれいなスマイルを作ることを中心掛けるようにしました。言葉の力は本当に恐ろしく、人をほめる言葉は相手の心を変えます、人は評価されることを望んでいます。これをターゲットストロークといい、スタッフにはけなすことより先ずほめる。患者さんに対しても、先ず長所を見つけほめることが大切です。

スタッフにはプロ意識を持つ要に心掛けさせ、又、Sの頭文字に絡めて、就業の心得としてしています。Steady（正確さ）Sincerity（誠実に）Speedy（迅速に）Safe（安全に）Smile（笑顔）Sanitary（清潔に）Study（研究心）Save（儉約）Satisfaction（満足度）Skill（技能）などなど。

当医院のNANUとしては一般歯科診療（MIにもとづくCの治療）メンテナンスを中心とした歯周治療、矯正治療、スイスの信頼できるITIインプラント治療、精密な金属床義歯・審美的特殊義歯・顎関節症の治療・ホワイトニング等の審美歯科等です。

医療法人として取り組んでいることは、ホームページの活用、MIの取り組み、慢性疾患（歯周病）のメンテナンスシステムの確立、ホワイトニング等審美歯科領域の実践、高齢化に対応した東洋医学的思考の治療への導入、女性に優しいきれいな環境、審美歯科への取り組み、小児の発育期の治療、インプラント治療、ブラケットを用いない口腔に優しいビムラー矯正などです。

最初のITの取り組みに関しては、電子カルテによる患者さんのデータ管理、ホームページを活用した情報の発信と治療相談等です、一応予約も取ることは可能です。

MIとは200年FDIが提唱した新しい予防的な治療の概念で「最小の侵襲」と和訳されています。具体的には歯蝕のメカニズムを理解した上で、正しい診察による治療計画に基づき、できるだけ歯質の侵襲の少ない処置を行なうというものです。患者個人のリスクを把握し、継続的に健康管理を行なうことが重要です。当院ではドイツ製のカールワイスの2.5倍双眼ルーベを購入し、使用しています。

院内感染予防には20年以上前から積極的に経費を省みず取り組んで、安心安全な医療環境を提供しています。

最後にどんなに素晴らしい技術や設備でも、手洗いや、消毒がなごりにされては全く意味がありません。何より大切なことは、患者さんにスマイルを持って優しく接することだと考えています。医療経営や現代医療の問題点を語るとどれだけでも話題がでてきますので、to be continuedということで、本日は終了させていただきます。ご清聴ありがとうございます。

〈会報委員会 新宮 一郎〉

#### （ニコニコBOX）

一週間遅れとなってしまいましたが、またまた素晴らしい新しい仲間、下田さんの入会を心より歓迎申し上げます。これからは若いエネルギーをもう少しで還暦を迎える私達にそそいで下さい。  
溝原 清嗣さん

昨日は今年初めてのゴルフ。  
70台でまわったことに感謝して。  
三枝 祥一さん